

# 5年 2学期【算数】 主な評価規準

江戸川区立第二葛西小学校

単元	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
図形の角	<p>三角形，四角形の内角の和が，それぞれ <math>180^\circ</math>，<math>360^\circ</math> であることがわかる。</p> <p>五角形，六角形や多角形の用語とその定義がわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内角の和を用いて，図形の示されていない1つの角の大きさを計算で求めることができる。</li> <li>多角形を三角形に分けて，内角の和を求めることができる。</li> </ul>	<p>三角形の内角の和から，四角形や多角形の内角の和の求め方を考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同じ形の四角形の敷き詰めを通して，敷き詰められる理由を考えることができる。</li> </ul>	<p>基本的な図形の性質をもとに多角形の内角の和について，筋道立てて考えようとする。</p>
偶数と奇数、倍数と約数	<p>偶数，奇数の用語とその意味がわかり，偶数と奇数に類別することができる。</p> <p>倍数，公倍数，最小公倍数の用語とその意味や求め方がわかる。</p> <p>約数，公約数，最大公約数の用語とその意味や求め方がわかる。</p>	<p>偶数，奇数を活用して，問題を解決することができる。</p> <p>公倍数，最小公倍数の考え方を活用して，問題を解決することができる。</p> <p>公約数，最大公約数の考え方を活用して，問題を解決することができる。</p>	<p>倍数，公倍数，最小公倍数や約数，公約数，最大公約数が，日常生活でどう利用できるかを考えたり，調べたりする。</p>
分数と小数、整数の関係	<p>整数どうしの除法の商は，分数を用いて表すことができることがわかる。</p> <p>分数倍の意味を理解し，分数を用いて何倍かを表すことができることがわかる。</p> <p>いろいろな分数を小数で表す方法がわかる。また，小数できちんと表せない分数があることがわかる。</p> <p>小数や整数はどんな数でも分数で表すことができることがわかる。</p>	<p>整数どうしの除法の商を分数で表すとき，その大きさを筋道立てて考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分数倍を，整数倍や小数倍と同じように考えることができる。</li> </ul>	<p>分数と小数，整数の関係から，分数の表す意味について考えようとする。</p>
分数のたし算とひき算	<p>分数は，分母と分子に同じ数をかけても，同じ数でわっても大きさは変わらないことがわかる。</p> <p>通分，約分の用語とその意味がわかる。</p> <p>大きさの等しい分数をつくったり，分数の通分をしたり，約分をすることができる。</p> <p>通分のしかたを知り，異分母分数の大小比</p>	<p>大きさの等しい分数のきまりを活用して，通分する方法を考えることができる。</p> <p>異分母分数の加法，減法の計算は，同分母にすれば既習の計算と同じようにできると考えることができる。</p> <p>分数と小数が混じった計算では，小数を公</p>	<p>分数の意味や表し方から，分数がどう利用されているか調べたり，どう活用できるか</p>

<p>小数のわり算とわり</p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 較をすることができる。</li> <li>・ 異分母分数の加法、減法の計算をすることができる。</li> <li>・ 分数と小数が混じった加法、減法の計算をすることができる。</li> <li>・ 分数を使って時間を表すことができる。</li> </ul> </p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小数と小数が混じった計算では、小数を小数にそろえれば計算できると考えることができる。</li> <li>・ 分数の加法や減法を使って、適用問題を解くことができる。</li> </ul> </p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えているが調べるに、この活用できるが考えようとしたりする。</li> </ul> </p>
<p>平均</p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平均の用語とその意味や求め方を理解し、平均を求めることができる。</li> <li>・ 資料の中に0がある場合の平均の求め方や、平均では分離量でも小数で表せることがわかる。</li> </ul> </p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平均の考えを活用して、いろいろな問題の解き方を考えることができる。</li> </ul> </p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 測定した結果を平均することについて考察し、それを学習や日常生活に生かそうとする。</li> </ul> </p>
<p>単位量あたりの大きさ</p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 混み具合を比べることを通して、単位量あたりの考え方がわかる。</li> <li>・ 単位量あたりの大きさの用語とその意味がわかる。</li> <li>・ いろいろな単位量あたりの大きさを求めて比べることができる。</li> <li>・ 人口密度の用語とその意味を理解し、人口密度を求めて比べることができる。</li> <li>・ 速さは単位量あたりの大きさを用いると表すことができることがわかる。</li> <li>・ 時速、分速、秒速の用語とその意味がわかる。</li> <li>・ 速さを求める公式を理解し、道のりと時間から速さを求めることができる。</li> <li>・ 道のりを求める公式を理解し、速さと時間から道のりを求めることができる。</li> <li>・ 時間を求める公式を理解し、道のりと速さから時間を求めることができる。</li> </ul> </p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人数と面積を使って混み具合を比べるとき、どちらか一方の数値を同じにしたとき、他方の量で比べればよいと考えることができる。</li> <li>・ 単位量あたりの大きさを求めて解決する問題の解き方を筋道立てて考えることができる。</li> <li>・ 速さを比べる方法を、単位量あたりの大きさの考えを使って考えることができる。</li> </ul> </p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単位量あたりの大きさを用いて、比べるよさに気づき、目的に応じて比べる方法を日常生活に生かそうとする。</li> <li>・ 速さは単位量あたりの大きさの考え方にもとづいていることを知り、日常生活で速さが扱われている場面を考えようとする。</li> </ul> </p>

## 四角形と三角形の面積

平行四辺形，三角形，台形，ひし形の面積は，既習の図形に等積変形等して求められることがわかる。

平行四辺形，三角形，台形，ひし形の求積公式の意味を理解し，求積公式を使って面積を求めることができる。

- 平行四辺形，三角形，台形の底辺，高さ，上底，下底の用語とその意味がわかる。高さが図形の内部にとれない平行四辺形や三角形の面積の求め方がわかる。三角形の底辺を一定にして高さを変えていくとき，面積は高さに比例していることがわかる。

平行四辺形，三角形，台形及びひし形の面積の求め方を，既習の図形に等積変形等して説明することができる。

- 平行四辺形，三角形の面積の求め方を活用して，面積の問題を解決することができる。

- いろいろな平面図形について，既習の図形の面積の求め方と関連付けて考えようとする。